



あと一步の向上に向けた取組

函館市立椴法華小学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

- 自ら学ぶ意欲を持ち、基礎的・基本的な知識と技能の確かな定着
- 学ぶ意欲と自学能力を高めるための学び方を重視した授業の展開
- 自分の思いを言葉にして表現し伝え合う「対話力」の育成
- 確かな学びを定着させるための家庭との連携
- 読書を日常化する指導(学校で、家庭で)

2 取組の概要

- 「計算エース」やパソコンを利用した基礎的な計算及び漢字学習の反復を行う。特に「計算エース」は、朝の20分間「とどっ子タイム」の中で週2回基礎的な計算練習を進級形式で行っている。また、色々な教育機器を有効に使い随時復習をしたり個別指導を行ったりTTや一部教科担任制を取り入れたりしながら子どもたちのニーズに合った学びの場を創出している。
- 学習プリントを有効に活用し、自分で問題を明らかにしたり子ども同士で相談しながら学習課題を解決していく。自学学習とグループや一斉授業を効果的に組み合わせた授業作りを行っている。
- 小グループや学級全体で「聞き合い話し合う」ことを意識した授業作りを行っている。また、全校朝会では学年ごとに順番を決めて全校の前で発表する機会を作っている。また、高学年は委員会活動を通して自分たちが企画した様々な行事を自分たちの手で準備をして発表したり大会を行ったりしている。「いじめ集会」も児童会役員が中心となり劇を脚本から作り全校児童の前で披露している。
- 宿題を定期的に出したり、家庭学習のヒントを通信などで伝えたりするなどして家庭での学習機会の創出を行っている。保護者へも必要性を伝える工夫をしている。
- 家庭で月2冊の読書を週末中心に取り組むよう呼びかけを行っている。

3 成果(○)と課題(●)

- 学力テストやCRTの結果から基礎的な計算能力の高まりが数字として表れてきている。
- 発表機会を多く作ることから「言葉伝え合う」姿勢が育ってきた。
- 論理的に説明できる言語能力を育てていく必要がある。
- 学校だけではなく日常的な読書習慣の確立を図る必要がある。